

I 第30週の発生動向 (2009/7/20~2009/7/26)

1. インフルエンザについては、届出がありませんでした。
2. 手足口病については、青森市保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

II 新型インフルエンザ情報

第28週：弘前保健所管内：2検体陽性、青森市保健所管内：4検体陽性。

第29週：発生はありませんでした。

第30週：青森市保健所管内：2検体陽性。

III 第30週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
小児科 内科 (85) インフルエンザ															-1				
小児科 (74) RSウイルス感染症															-1				
(75) 咽頭結膜熱			2	0.2	1	0.1			1	0.2	1	0.3	5	0.1	-6				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.0	8	0.9	3	0.3			12	2.0	7	1.8	39	0.9	-5			9	1.1
(77) 感染性胃腸炎	17	1.9	10	1.1	5	0.6	6	1.2	4	0.7	16	4.0	58	1.4	-3	4	4.0	13	1.6
(78) 水痘	14	1.6	3	0.3	5	0.6	2	0.4	2	0.3	3	0.8	29	0.7	-45			14	1.8
(79) 手足口病	117	13.0	16	1.8			3	0.6	9	1.5	8	2.0	153	3.6	39	4	4.0	113	14.1
(80) 伝染性紅斑	4	0.4											4	0.1	-2			4	0.5
(81) 突発性発しん	4	0.4	4	0.4	3	0.3	3	0.6	6	1.0	5	1.3	25	0.6	1			4	0.5
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ	2	0.2	2	0.2	2	0.2	1	0.2	2	0.3	5	1.3	14	0.3	-4			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.3	1	0.1	3	0.3	1	0.2			1	0.3	9	0.2	-1			3	0.4
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					2	2.0					3	0.3	-1			1	0.5
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					7	7.0					1	1.0	8	1.3	4				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	11	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

IV 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前6人、八戸1人、五所川原1人、上十三3人、青森市2人 (21年計:203人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計: 8人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の惑

手足口病

(五類定点把握疾患)

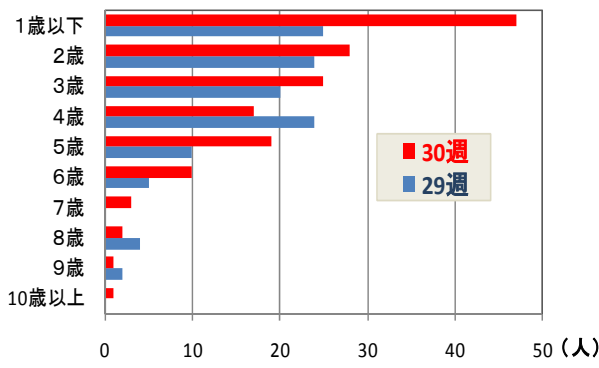


図1 年齢別届出数 (29~30週) 青森県

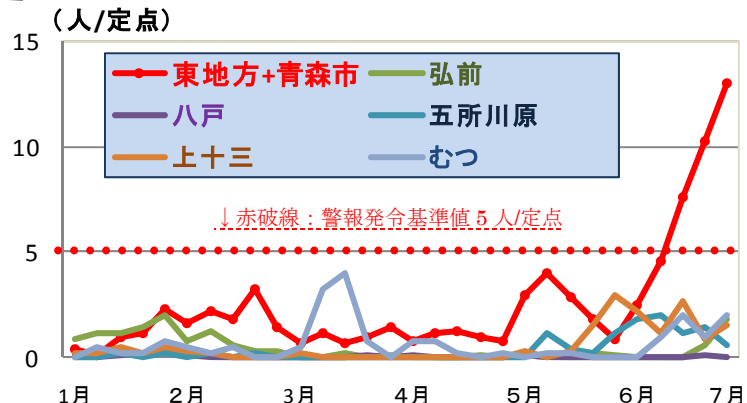


図2 保健所管内別届出数推移 (2009年) 青森県

手足口病は、3~5日の潜伏期間の後、乳幼児を中心に、口腔の粘膜や手足に水疱性の発疹が見られるウイルス性感染症です(図1)。青森市保健所管内においては、3週連続で警報が続いています(図2)。同管内当該週においては、更に23人増の113人となっています。感染予防は、手洗いの励行(乳幼児のおむつ処理後の手洗いの徹底など)、タオルの共用を避けるなどの注意が必要です。